

# 校内研修②

## 特別支援教育の視点による 児童生徒理解の充実 【協議】

令和2年 月 日( )  
釜石市立 小学校

### 校内研修の流れ

#### I. 校内研修①【講義・演習】

・「子どもの視点に立つ」



研修内容を踏まえた授業実践

・「子どもの視点に立つ」ことを意識した実態把握

#### II. 校内研修②【協議】

・「気づき」の共有

# 本日の流れ

- ①はじめに
  - ・「子どもの視点に立つ」ということ  
(前回の振り返り)
- ②協議
  - ・「気付き」からの協議
- ③まとめ
  - ・「気付き」の共有から見えてくるもの
  - ・特別支援教育で大切なこと

## ①はじめに

「子どもの視点に立つ」ということ

「困難さ」を知る

+

「困難さ」が継続している  
心理を知る

### 特別支援教育の視点

「学習上又は生活上の困難さがある児童生徒には、周囲の理解と支援が必要であり、一人一人に応じた適切な関わりによって、その困難さが改善するかもしれない」という見方や考え方

## ② 協議

## 【協議で大切にしたいこと】

○本協議での発言に正解、不正解はありません。

○参加者それぞれの経験や立場、考え方は異なる多様なものとして協議を行います。

○気になったこと、知りたいこと、聞いてみたいことを率直に伝えていきましょう。

## 「気付き」からの協議

### 事例検討を進めよう！

- ①「気付き」の共有化(グループ)
- ②「気付き」の深化(グループ) 【40分】
- ③「気付き」の全体化(全体発表)  
【1グループ2分】

## ①「気付き」の共有化(グループ)

子どもの実態を  
グループの中で発表し、  
「気付き」を共有する。

名前	様子(いつ、どこで、どうした)

【ポイント】  
一人ずつ、情報を伝える。  
※「気付き」の事実のみを伝えて共有をする

## ②「気付き」の深化(グループ)

- ①グループで、情報共有する子どもを1人決める。
- ②全員でその子どもについて知っている情報を書き出す。
- ③グループで情報を共有する。  
+その中でさらに知りたい情報があれば、聞く。

よい行動  
プラスの行動  
等

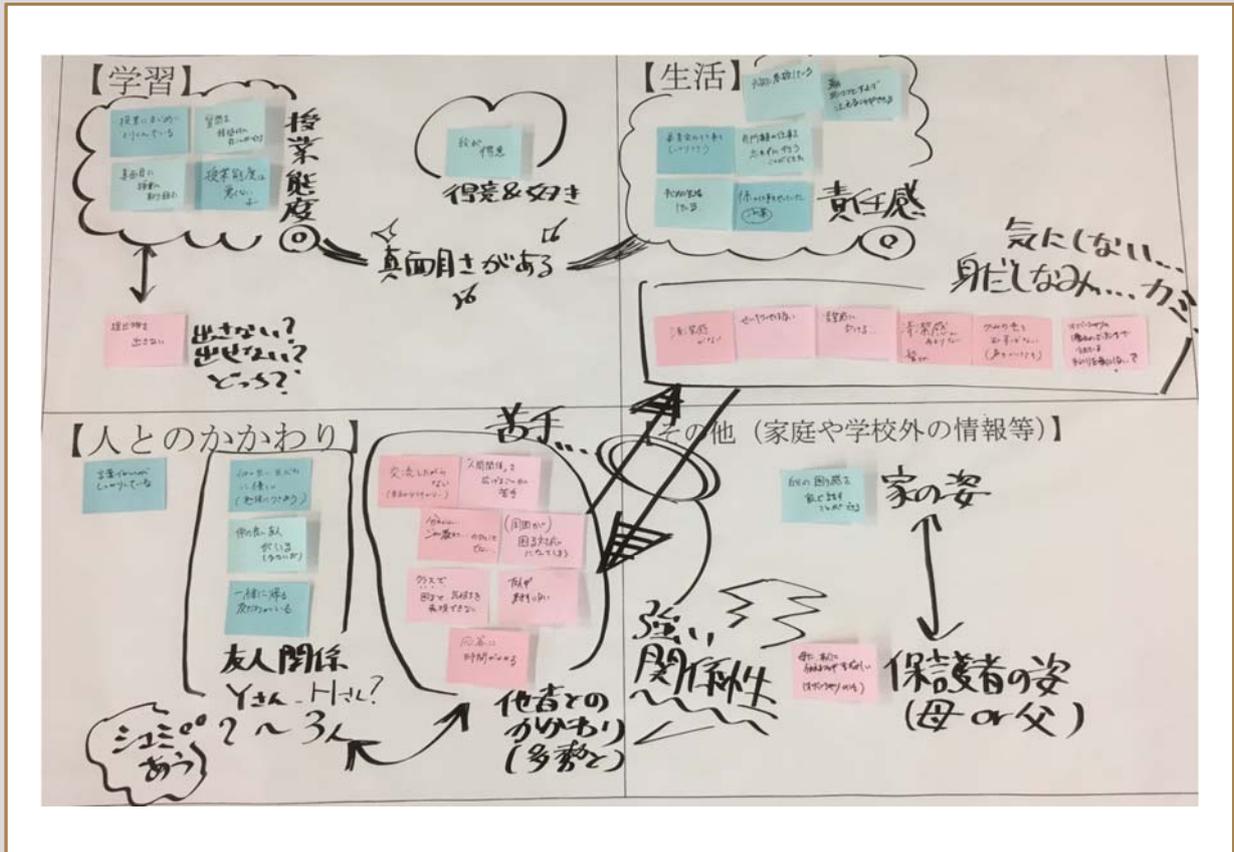
子どもの困難さ、苦手  
さを感じた行動  
マイナスの行動  
等

# 情報共有シート記入例

<p><b>【学習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み、書き、話す、聞く</li> <li>・字形、計算、推論</li> <li>・姿勢の保持(揺れ、傾き、等)</li> <li>・教科の好き、嫌い</li> <li>・集中、意欲の続く場面</li> <li>・座席の位置</li> <li>・手先の動き(道具の使用)</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	<p><b>【生活】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物や忘れ物</li> <li>・好きなこと、嫌いなこと</li> <li>・得意なこと、不得意なこと</li> <li>・学校での役割</li> <li>・支度、片付け(ロッカー、机の中等)</li> <li>・気持ちの切り替え(時間の切り替え)</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>一つの付箋に一つの内容</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>得意な行動 よい行動 プラスの行動 等</p> </div>
<p><b>【人とのかかわり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交友関係 ・距離感</li> <li>・言葉遣い ・挨拶</li> <li>・感情のコントロール</li> <li>・協調性</li> <li>・話のつじつま</li> <li>・声の大きさの調整</li> <li>・アイコンタクト</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	<p><b>【その他(家庭や学校外の情報等)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習い事</li> <li>・放課後の過ごし方</li> <li>・家庭での様子</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>子どもの困難さ 苦手さを感じた行動 マイナスの行動 等</p> </div>

分類しながら貼っていく(実態把握を深める)

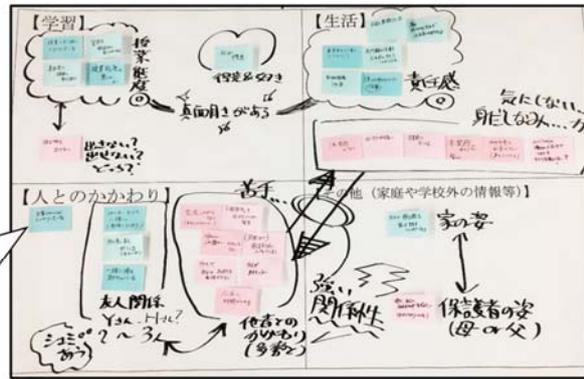
- 自身の「気付き」を確かなものにする
- 今まで知らなかった「気付き」を得る



情報共有シートの例①

【主なねらい】

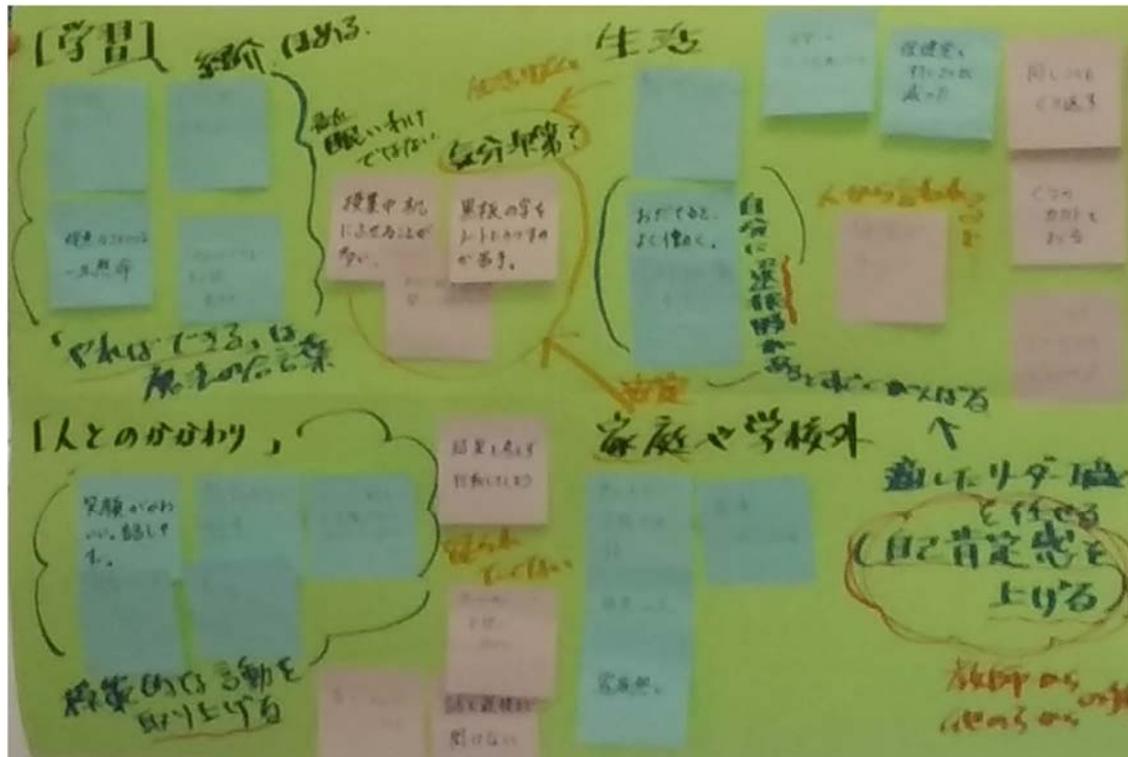
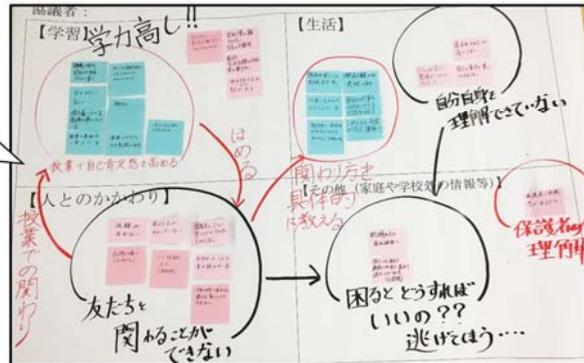
- ・ピンク、青の付箋で対象児童生徒の実態把握を深める。
- ・一人の教員の「気付き」を、グループの教員の「気付き」と重ねて、確かなものにしたたり、新たなものにしたりする。
- ・見出しをつけて、関連付けていく。
- ※時間があれば、下の情報共有シートのように長所を活用した指導支援の具体を考える。(赤マジック)



情報共有シートの例②

【主なねらい】

- 上記の情報共有シートの例①のねらいに加えて、
- 長所を活用した指導支援の具体を考える。(赤マジック)
- ※明日からできる指導支援をグループで考える。



### ③「気付き」の全体化(全体発表)

#### 【発表する先生】

- ・グループで話し合った内容を、共有しましょう。
- その子どもの情報について、グループで共有化した内容について要点を伝えてください。

#### 【他のグループの先生】

- ・その子どもを、今後自分も支援するつもりで聴きましょう。
- ・自分が担当しているクラスにも似たような子どもがいないか？という意識をもって聴きましょう

### ③まとめ

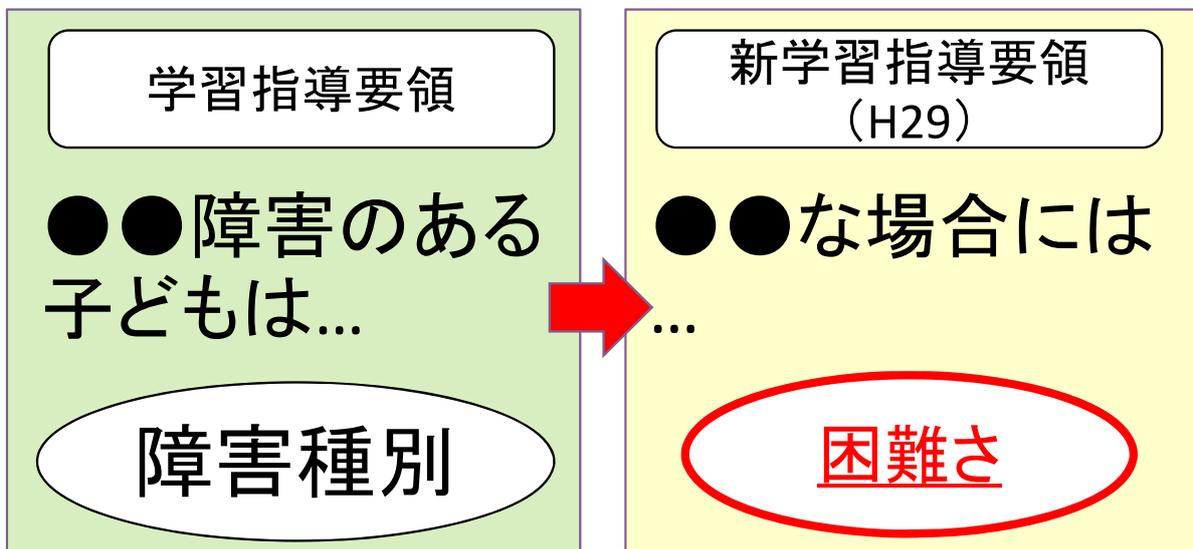
## 「気付き」の共有化から見えてくるもの

### 【特別支援教育の視点】

「学習上又は生活上の困難さがある児童生徒には、周囲の理解と支援が必要であり、一人一人に応じた適切な関わりによって、その困難さが改善するかもしれない」という見方や考え方

## 「気付き」の共有化から見えてくるもの

### 一人一人の学びの充実のために



# 特別支援教育で大切なこと

1人の、100歩より、  
100人の、1歩が  
子どもを支える

国立特別支援教育総合研究所 久保山茂樹先生の言葉より

## 児童生徒理解の充実

### 【特別支援教育の視点】

「学習上又は生活上の困難さがある児童生徒には、周囲の理解と支援が必要であり、一人一人に応じた適切な関わりによって、その困難さが改善するかもしれない」という見方や考え方

# 共生社会に向けて

集団指導において、障害のある児童など一人一人の特性等に応じた必要な配慮等を行う際は、教師の理解の在り方や指導の姿勢が、学級内の児童に大きく影響することに十分留意し、学級内において温かい人間関係づくりに努めながら、「特別な支援の必要性」の理解を進め、互いの特徴を認め合い、支え合う関係を築いていくことが大切である。

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編」文部科学省